

新春テレビドラマ

※8階視聴ブースで視聴できます

番組ID	タイトル	放送局／分数／OA日	内容
004585	向田邦子新春ドラマ 春が来た	テレビ朝日 84分 1982/1/1	27歳のOL・直子(桃井かおり)は月給の半分を家にいれ、おしゃれも恋も無縁の生活を送っていた。母・須江(加藤治子)も働き、化粧つけもなしで夫にずけずけとものを言う。妹は詩を投稿し賞金を稼ぐ高校生で友達からは変わり者と呼ばれている。仕入先の社員・風見(松田優作)と交際を始めた直子は、中流家庭の娘のように言い繕っていたが、家まで送られて本当のことがわかってしまう。しかし家庭に恵まれなかった風見は直子の家族が気に入り、しばしば訪れるようになる。演出:久世光彦
004589	向田邦子新春スペシャル 第一夜 眠る盃	東京放送 73分 1985/1/9	昭和15年から31年、戦中戦後の時代に大人へと成長していく一人の女性の目を通して見た様々な愛の形を描く。(1985年1月9日～23日放送、全3回)◆第一夜「眠る盃」。昭和15年元旦、東京・目黒。13歳の陽子(工藤夕貴)は母・里子(加藤治子)のいいつけで、祖父・周造(森繁久弥)におせちを届けに行った。周造は出入りの中沢家へ陽子を連れて年始にでかける。中沢家には嫁いで20年になる静枝(八千草薫)が里帰りしていた。静枝はやがて実家も飛び出して男やもめの周造の家へやってくる。演出:久世光彦
004590	向田邦子新春スペシャル 第二夜 夜中の薔薇	東京放送 73分 1985/1/16	第二夜「夜中の薔薇」。昭和22年早春、女学校5年生・18歳になった陽子(石原真理子)は尊敬できる教師・スミ子(いしだあゆみ)に出会って充実した毎日を送っていた。スミ子は陽子を家へ招き、戦死した恋人の話聞かせてくれた。あこがれの先生の打ち明け話に大人びた気持ちになった陽子だが、その夜、寝静まったはずのスミ子の部屋に男が忍び込むのを見てしまう。演出:久世光彦
004591	向田邦子新春スペシャル 第三夜 冬の家族	東京放送 72分 1985/1/23	第三夜「冬の家族」。昭和31年12月、映画雑誌社に勤める陽子(桃井かおり)は27歳。父・完治(小林亜星)と母・里子(加藤治子)は婚期を過ぎかけた娘が心配でならない。陽子には実は久男(森本レオ)という秘密の恋人がいた。しかし久男は3年前に離婚して5歳の男の子と母親の3人で暮らしているどことなく頼りない男。久男の母は陽子が嫁いできてくれないかと願っていた。演出:久世光彦。
004529	新春ドラマスペシャル 好色一代男 世之介の愛して愛して物語	東京放送 98分 1986/1/1	井原西鶴が生んだ桁外れの好色男・世之介を、明石家さんまがアドリブを交えてコミカルに描く。◆大店の若旦那・世之介が、人妻に惚れた。親も黙認の廓遊びでは味わえない恋に、駆け落ちの覚悟を固めるが、結局女には逃げられ、勘当を言い渡される。しかしこりもせず女遊びを続けてさまよい、あげくのたてに盗人と間違えられて牢に押しこめられる。そこであの人妻と思わぬ再会をとげる。
004475	新春ドラマスペシャル 女たちの場所	フジテレビジョン 148分 1986/1/3	社会の一線で活躍する独身キャリアウーマンたちが、“老い”への不安を抱きながらも、人生をどうとらえて生きてゆくか悩む姿を描く。◆未亡人・佐和子の経営する喫茶店には、女流建築家、雑誌編集者、スーパー店員など様々な働く女が集まってくる。職業も生活も違う独身中年の彼女たちは身を寄せあい、老後の共同生活設計や、墓を作る計画まで相談しあう。そんな折、飲み屋のおかみ・かのえが急死。彼女には身寄りがないはずなのに、娘と名乗る松栄が現れた。
002803	女の人差し指 向田邦子新春スペシャル	東京放送 73分 1986/1/8	向田邦子のエッセーをもとに、昭和中期の家庭と家族の心の中に起きたさざ波のような動揺を、良き時代の正月風景の中に捉えようとしたドラマ。◆1940年(昭和15)11月、紀元2600年式典の夜、軍人遺族の家の長女・文子は暴漢に襲われたが、連城という男に助けられた。文子は連城に好意を抱くようになるが、文子には婚約者の海軍士官・三村がいた。演出:久世光彦
004595	向田邦子新春スペシャル 麗子の足	東京放送 97分 1987/1/7	肺結核で療養所暮らしを送る父を毎週見舞う母。久しぶりに見舞いに行った娘は、看護婦の話から母にある疑いを持つ。◆紀田家の父・順弥(佐藤慶)は、結核で2年前から療養生活を送っていた。母の里子(加藤治子)は週に一度父のもとへ通っているが、娘・麗子(田中裕子)は病気が移るからと面会を禁じられていた。ある日、麗子は熱を出して勤め先から早退した。帰ってみると従兄弟で軍医をしている聡一郎が訪れていた。聡一郎は麗子まで肺を患ってはと心配し、あれこれ注意してくれるのだが麗子は聞く耳を持たない。演出:久世光彦

新春テレビドラマ

※8階視聴ブースで視聴できます

番組ID	タイトル	放送局／分数／OA日	内容
004499	新春ドラマスペシャル なつかしい春が来た	フジテレビジョン 151分 1988/1/3	東京下町のある一家に、死んだ祖父が幽霊となって現れ、家族は生者には話せない悩みや本音を語りかける。◆浅草で食品サンプルを作る諸星家の祖母・妙は、3年前に死んだ夫・春吉が会いに来たと大喜びで話す。息子の達郎や嫁の加奈は信じないが、孫の佐紀は「会いたいと念じれば出てくる」という妙の言葉を信じた。ある日、佐紀が念じると本当に春吉が現れた。佐紀は春吉が家族に会いたがっている知り、病院の薬局に務める伯母・晶子を訪ねた。
004597	向田邦子新春スペシャル 男どき女どき	東京放送 93分 1988/1/6	戦時色深まるさなかに結婚した菊子は、夫の様子がおかしいのにも気づいて不安に陥る。◆昭和15年、父を満州事変で失った大島家は母子4人と女中とでつつましく暮らしていた。25歳にして嫁ぐことになった菊子(田中裕子)の相手は研究所につとめる平岡正雄(三浦賢一)で、大島家の離れに住むことになった。兄の一郎(小林薫)は戦争のことなど知らん顔でダンスホールでクラリネットを吹いており、母の里子(加藤治子)を嘆かせている。演出:久世光彦
004602	時間ですよ新春スペシャル 梅の湯はギャグでいっぱい	東京放送 198分 1989/1/2	銭湯を舞台にしたホームコメディのスペシャル版。3つのドラマの間に名場面を紹介する「カタログ時間ですよ」「思い出の時間ですよ」とを挿入して構成。◆ドラマ:[その1]明くんのお見合いとその破談のてんまつ。[その2]勝ちちゃんの命をかけた恋とその失恋の物語。[その3]おかみさん・ウメの人情あふれる粋なはからいで二人の恋が成就するまで。演出:久世光彦
004875	新春ドラマスペシャル 春一番!愛ふたつ	読売テレビ放送 120分 1989/1/5	東京の下町・谷中で暮らす女医の竹子と僧侶の修円は隣同士の幼馴染だが会えばケンカばかり。ところがそれぞれの子供、静と諭は両思い。このままでは自分たちの結婚もままならないと、親同士を結婚させようとたくらみ始める。
004604	向田邦子新春スペシャル わが母の教えたまいし	東京放送 96分 1989/1/14	役人の父を早くに亡くした女世帯。4人の女の心の揺れを昭和10年代の市井の暮らしの中に描く。◆東京・池上の結城家。長女悦子は肺をわずらって健康に自信をなくし、婚約者をもう3年も待たせている。次女鶴子はデパートに勤め、三女のいさ子は女学生。いさ子は自分が姉たちに似ていないと悩み、自分は母と元ヤクザの仙造との間に生まれたのではと疑っている。演出:久世光彦
004605	時間ですよ・新春スペシャル 梅の湯の結婚式はギャグでいっぱい	東京放送 148分 1990/1/2	銭湯「梅の湯」を舞台にしたホームコメディのスペシャル版。大みそかから正月にかけて梅の湯に起こる騒動の数々を描く。◆[第1部:逃げだした花嫁]大みそかの梅の湯は彦一と桃子の婚礼をひかえ、女主人ウメらはてんでこ舞い。そこへ彦一の元恋人がウェディング姿でとびこんできて大騒ぎを起こす。[第2部:クイズですよ平成2年]ウメ役の森光子と懐かしのメンバーによるバラエティー。[第3部:涙のウェディング]正月二日は彦一と桃子の婚礼。そこへ彦一の幼友達・鉄男がやってきてまたひと波乱が起きる。演出:久世光彦
004606	向田邦子新春スペシャル 隣りの神様	東京放送 95分 1990/1/4	女所帯に男が突然転がり込んできた。静かに澄んだ水に落とされた一滴の墨のような存在に、揺れる娘たちと守ろうとする母の葛藤を描く。◆池上本門寺わきでささやかに暮らす宮部家の3姉妹と母親の里子。出戻りの長女・彦乃、病気で寝ている次女の笙子、女学生の三女・麗。昭和15年元旦、古い知人の娘・則子が駆け落ちて謙三と飛び込んできた。則子は翌日帰ったが、謙三はこの家に居座った。元手品師という謙三はヤクザめいた影もあり、父親のない姉妹にはその危うさが新鮮な刺激となる。演出:久世光彦
004607	新春ミステリースペシャル 花迷宮 ～昭和異人館の女たち～	フジテレビジョン 119分 1990/1/5	横浜・本牧の娼館を舞台に女将と娘、娘の婚約者をめぐる謎を描く。◆朝日館は7人の娼婦を抱える女の館。1929年(昭和4)、関東大震災で別れ別れになった女将・るいの娘・葉子が婚約者と一緒に訪ねてくると言う。別れて7年になる葉子は美しかった。しかし、婚約者の影山に在るいは危険な匂いを感じた。この娘は本当に葉子なのだろうか?演出:久世光彦

新春テレビドラマ

※8階視聴ブースで視聴できます

番組ID	タイトル	放送局／分数／OA日	内容
004612	新春ミステリースペシャル 花迷宮 ～上海から来た女～	フジテレビジョン 118分 1991/1/4	謀略うず巻く昭和初期の上海を舞台に、日中抗争のはざまで引き裂かれた女の運命を描く。◆昭和15年の横浜。ダンスホール“花迷宮”の女主人・月絵は若い頃上海にいた。月絵のアパート・月光荘を中国女性の愛鈴がひそかに訪れる。愛鈴は上海の日本情報組織の一人・清家中尉の愛人。清家は月光荘に部屋を借りており、愛鈴は帰国しない彼をその部屋で待った。1年半ぶりに現れた清家は、蒋介石側近の宋学林が殺されたと月絵に話す。月絵と宋は子までなした仲であった。演出：久世光彦
004613	向田邦子新春スペシャル 女正月	東京放送 94分 1991/1/7	昭和13年、東京の池上。里子は夫亡きあと3人の子供と暮らしている。長女のいち乃は商工省に勤める誠一と結婚して家を出た。8年前、出版社で働いていたいち乃は作家・石川に無理心中を迫られた。結果いち乃は助かり石川は死んだが、このことは里子しか知らない。ある日次女のまき恵が恋人の中原を連れてきたが、彼は石川の友人だった。家族に波紋が広がる。演出：久世光彦
005970	新春ドラマスペシャル 三婆'92	テレビ東京 147分 1992/1/3	死んだ資産家の本妻・妾・小姑が巻き起こす騒動を軽妙なタッチで描く「三婆2」。有吉佐和子原作。◆亡き資産家の本妻・松子(草笛光子)、妾の駒代(加賀まりこ)、妹のタキ(菅井きん)。小料理屋を開店したものの意見の対立から店を閉めてけんか別れと相成り、バラバラに暮らしていた。半年後、松子の住む伊豆の古ぼけた洋館に駒代とタキがやって来た。独りの生活は寂しいと三人はまた一緒に暮らし始めるが、このまま何も残さずに死にたくないと言ったペンションを共同経営することにする。
004615	向田邦子新春スペシャル 華燭	東京放送 93分 1992/1/6	太平洋戦争開戦直前の頃、一家の母親代わりをつとめる娘と父の弟子との恋のゆくえを描く。◆溝呂木家の長女・佐和は、娘を嫁に行かせたがらない研究者の父・要と世間になじめない妹の滝子の世話をして一家を切り盛りしている。彼女は父の弟子である市太郎と内緒で付き合っていた。市太郎に求婚された佐和は要に相談するが賛成してもらえない。そんな中、6年前に家を出た母がふらりと現れる。演出：久世光彦
004617	向田邦子新春シリーズ 家族の肖像	東京放送 94分 1993/1/11	真面目一辺倒だと思っていた父には秘密があった。突然名乗り出た隠し子にとまどう母娘を描く。◆田野倉家は早くに父を亡くし、女ばかり4人で暮らしている。13回忌の日、母の里子と長女の琴子は見知らぬ女が参列しているのに気づく。女は記念写真に収まって帰ったが、素性を聞きそびれる。写真を受け取りに来た女は伸子と名乗り、父の隠し子だという。信じられない琴子たちに、伸子は父のほくろの場所や好きだった曲を言い当て、同じオルガンが家にあったとまで言う。演出：久世光彦
007463	新春ドラマスペシャル 家族ネットワーク	テレビ朝日 99分 1994/1/3	父は単身赴任、息子は遠い大学に行き、娘は一人暮らし。残された母は暇と寂しさを紛らわすために習いごとで熱中する。全員がバラバラに生活し、たまに連絡を取り合う“ネットワーク家族”。皆、正月には家に帰って来たものの、それぞれが家族に隠していた問題が待ち構えていた。息子はカード破産寸前、娘は同棲騒ぎ、そして夫は不倫…現代の家族が抱える問題を描く。
005264	向田邦子新春シリーズ いとこ同志	東京放送 94分 1994/1/10	向田邦子新春シリーズ10周年記念作品。◆昭和15年。向坂家の長女・静江(田中裕子)は母・里子(加藤治子)を手伝いながら妹の久江(相楽晴子)・亀子(井出薫)の面倒を見ていた。伯母(岩崎加根子)の紹介で見合いをした美術学校の講師・中井(四谷シモン)との仲も進展している。ある日、仕事で栃木の山奥にいるいとこの勝利(小林薫)から手紙が届く。離婚したと書かれた手紙を読み、静江は縁談はなかったことにしてくれと言い出す。1ヶ月後、勝利は東京へ転勤になって向坂家に居候することになった。演出：久世光彦
008246	新春スペシャル 花のれん	テレビ東京 147分 1995/1/1	吉本興業創業者・吉本せいの生涯を描く、浪速の細腕繁盛記。◆大正初期。船場の呉服屋主人・吉三郎は芸事好きの道楽がたたって店を倒産寸前に追いやる。嫁の多加は夫に寄席の経営を勧め、夫婦は店を売って小さな寄席小屋を手に入れる。しかし真打など呼ぶ資金はなく、若手や物まねなどで幕を開ける。三年後、吉三郎が愛人の家で亡くなり多額の借金が残った。多加はなりふりかまわず興行に取り組み、次々と成功させていく。

新春テレビドラマ

※8階視聴ブースで視聴できます

番組ID	タイトル	放送局／分数／OA日	内容
011155	内館牧子新春ドラマ 転職ロックンロール	テレビ朝日 99分 1995/1/4	エリート商社マンがロックンローラーに転職したことから起こる笑いと涙のドラマ。◆相模純之介は30歳。一流商社の有望株だが、突然髪を染め「会社を辞めてロックンローラーになる」と宣言。息子の豹変に両親は啞然とするが、大嫌いな美佐子と兄の婚約に反対だった妹みゆきは、これで破談になると兄を応援する。会社は即日退職、婚約も破棄され、音楽の道にも厳しい現実があった。
005265	向田邦子新春シリーズ 風を聴く日	東京放送 94分 1995/1/9	昭和14年。原沢家は昨年父の家出で母・里子、次女・晶子、三女・愛子の三人になっていた。そこへ病がちの母の世話をするためとって長女・絹子が嫁ぎ先から帰ってくる。夫の戦死後も嫁として暮らしていた絹子の里帰りに、里子は絹子が恋をしたと感じる。一方、父・浩二郎を晶子が街で見掛けたことから、絹子は父が女と暮らしていると知るが、母には話せない。ところが正月を控えたある日、父が突然帰ってきた。演出：久世光彦
008277	向田邦子新春シリーズ 響子	東京放送 97分 1996/1/8	老舗の石材屋の当主である祖父が急死する。長女は通夜の晩に現れた祖父の愛人を通して祖父と母の秘密を知る。そして長女もまた、夫がありながら職人との恋に落ちる。◆東京・愛宕山の池谷石材店は江戸時代から続く老舗。職人肌の当主・常吉が世を去った。孫の響子は常吉の愛人・すみ江から常吉と母・ときが男と女の関係だったことを聞く。響子は病身の夫がいながら、腕利きだが妻ある荒くれな石工にひかれていく。演出：久世光彦
008410	向田邦子新春シリーズ 空の羊	東京放送 97分 1997/1/6	1985年に始まった新春恒例のドラマシリーズ。昭和初期の日本を、ある家族の生き方と共に描く。◆昭和13年。東京・池上に住む桂木家は、母親の里子、夫を戦地で失った長女の松乃、そして二女、三女の4人家族だった。そんな桂木家に、叔父の富之介が酒場で意気投合したという落語家・光太郎を連れてくる。松乃は、自分とは全く違う生き方をしている光太郎が信用できず、強い警戒心を抱くが、天涯孤独の身と知って次第に打ち解けていく。だが、光太郎と亡き父の間には何か秘密があるらしい。演出：久世光彦
009083	新春ドラマスペシャル 人情馬鹿物語	テレビ東京 120分 1998/1/1	私利を顧みず人間の情に生きた優しき“人情馬鹿”たちの物語。◆第1話「七つの顔の銀次」スリの名人銀次は、二代目を継いでほしいという女親分お新の願いを振り切って足を洗った。ところがある事情から元の稼業に戻らざるをえなくなる。◆第2話「親なしっ子」惚け始めた父と娘夫婦の人情話。養老院に入った老父が翌日には出たいと騒ぎ出した。本当に惚けているのか、とぼけた父に振り回される周囲の滑稽さとほろ苦さ。◆第3話「深川の鈴」寿司屋の後家さんと文学修行中の青年との粋な別れ話。演出：久世光彦
010190	向田邦子新春シリーズ 終わりのない童話	東京放送 96分 1998/1/12	昭和14年、未亡人のかなえは東京・池上の実家に戻っていた。ある日、かなえは浩太郎という男の捨てた原稿用紙を拾う。いとこの修造によれば、浩太郎は元大学講師で、若者に支持される左翼思想家だったが獄中で転向を宣言、彼らの信頼を失った。以来娘と2人でひっそり暮らしているという。原稿用紙には、浩太郎の書いた未完成の童話が。物語の結末を知りたくなったかなえは浩太郎の家を訪ねる。演出：久世光彦
009082	新春ドラマスペシャル 恍惚の人 '99	テレビ東京 96分 1999/1/1	会計事務所で働く昭子のもとに、息子の敏から同居する義父・茂造が老人クラブから姿を消したと連絡が入る。茂造は数ヶ月前からボケの兆候が現れていた。茂造は警察に付き添われ戻ってくるが、日ごとに症状は悪化していく。介護に孤軍奮闘する昭子を見かねた夫の信利の末弟・透は恋人の美砂に介護のバイトをたのむ。親族のことも認識できなくなった茂造は昭子にべったり。仕事も辞め介護に追われる昭子は、茂造の死を願いはじめた自分に気づき、心が痛む。演出：久世光彦

新春テレビドラマ

※8階視聴ブースで視聴できます

番組ID	タイトル	放送局／分数／OA日	内容
010631	向田邦子新春シリーズ 小鳥のくる日	東京放送 96分 1999/1/11	昭和15年、神林里子は3人の娘と東京・池上で暮らしている。最初の夫との死別後、再婚した夫・順造は、17年前に失踪した。その順造がひょっこり帰ってくる。失踪の理由を明かさなため、女4人はそれぞれに複雑な思いを抱く。家族を捨てた順造を許せない次女の初子は、出版社の同僚・津森のアパートへ出て行ってしまふ。順造は津森に会うが初子は帰ってこない。長女のみさおに、順造は「津森は自分と同じ駄目な匂いがする」と心配する。演出：久世光彦
010633	向田邦子新春ドラマ あ・うん	東京放送 96分 2000/1/1	「あ、うん」の呼吸で神社に佇む狛犬のように固い友情で結ばれた2人の男と、その狭間で揺れる妻を哀切に描く。◆昭和10年春、仙吉は妻のたみ、娘のさと子と共に転勤で東京に戻ってきた。新居を世話したのは戦友、門倉。たみの妊娠が分ると、門倉は「女の子なら養子に欲しい」と懇願する。門倉はたみに密かな想いを寄せており、それを知るたみもときめきを胸に秘めていた。門倉の妻の紹介でさと子は辻本と見合いをする。仙吉が縁談を断った後も、さと子はこっそり辻本と会う。母と娘、それぞれが実らぬ恋に心を揺らす。演出：久世光彦
010457	新春ドラマスペシャル 菊次郎とさき	テレビ朝日 121分 2001/1/6	小心者で酔うとすぐ暴力をふるうペンキ職人の父・菊次郎と母・さき、4人の子と菊次郎の母を含めた一家7人の日常をユーモラスに描く。◆東京の足立区梅島で、一家の暮らしは菊次郎と勤め人の長男・重一に支えられていた。しかし菊次郎の稼ぎは酒に消えてしまう。さきは、貧しさから抜け出すには教育しかない信じ、教育には惜しみなく金を使ったおかげで子供たちの成績は良かった。ただ一人、末っ子の武を除いて。武の頭を占めているのは野球のグローブを買ってもらったことだけだった。
011719	木曜洋画劇場特別企画 新春ミステリー 開幕ベルは華やかに	テレビ東京 121分 2002/1/3	華やかな舞台の裏側に渦巻く人間関係を喜劇タッチで描く。◆新進劇作家の小野寺ハルは、1ヵ月後に迫った舞台の脚本を引き受けた。満州国建国に関与した男装の麗人・川島芳子の物語だ。主演は大女優の八重垣光子。ある日、舞台の主催会社から「光子を出すな」と脅迫電話が入る。電話は舞台初日も続き、犯人は2億円を要求する。同じ頃、光子のライバルだった女優の訃報が入る。光子の周辺にいる人間の憎しみと疑心暗鬼が交錯する中、客席では第一の殺人が起こる。
012174	小津安二郎生誕百周年記念 新春ドラマスペシャル 秋刀魚の味	フジテレビジョン 117分 2003/1/3	小津安二郎監督の遺作「秋刀魚の味」を、設定を現代に移してドラマ化。家族の身の回りの世話をするうちに婚期の過ぎた娘の結婚に頭を悩ます父の姿と、娘との絆を描く。◆平山周平(宇津井健)のところへ娘路子の縁談が来た。その場では深く考えずに受け流した周平だが、妻の死後ずっと主婦役をつとめてきた路子も今年で33歳。そろそろ嫁に出すべきかと考えるようになる。しかし、当の路子にはほとんどその気がない。